

# クワシロカイガラムシの発生状況と 防除方法について（第3世代）

平成29年9月13日  
埼玉県茶業研究所  
いるま野農業協同組合

クワシロカイガラムシ（以下クワシロ）の幼虫が発生しています。

次の方法により、茶園の防除を行ってください。

## 1 発生状況

9月12日現在、どの地域においても産卵率は100%に達していて、ふ化幼虫の発生が始まっています。一部遅い地域をのぞき、幼虫の定着も始まっています。

## 2 積算温度による推定

青梅アメダスデータと各地で調査している温度データ及び切り枝調査による推定防除適期は以下のとおりです。

積算温度調査地点	積算温度と切り枝調査による推定防除適期
所沢（北野） 所沢（下富） 所沢（狭山ヶ丘） 狭山市（笹井） 入間市（野田）	9月18日～23日
飯能（芦荻場） 入間（根岸） 入間（藤沢） 日高（高萩）	9月20日～25日
入間（木蓮寺）	9月22日～27日
青梅アメダスデータ	9月23日～26日

### 3 防除適期

防除適期は幼虫が発生し始めてから7～10日後になります。9月12日現在の幼虫発生状況や積算温度による推定から、発生早い場所では**9月18日～9月23日頃**、また遅い場所では**9月22日～28日頃**が防除適期と予想されます。今後降雨が続く場合、著しい低温が続く場合などは適期が遅れる可能性があります。また第3世代幼虫の発生は、だらだらと続くため、ほ場をよく観察し防除適期を逃さないようにしましょう。

**判断が難しい場合はご相談ください。**

なお、茶業研究所では8月から耐震工事が行われており、今年は防除適期判定会を行うことができません。詳細な防除適期については農薬販売店等に相談するか、下記問合せ先に直接ご相談ください。

### 4 防除方法

プルートMCを散布していないほ場については、アプロードエースフロアブルまたはコルト顆粒水和剤を農薬使用基準に従って散布してください。これらは、天敵に影響の少ない農薬です。株内の枝に十分液がかかるように丁寧に実施してください。

プルートMCを散布したほ場については、ほ場をよく観察し、著しい発生が見られる場合は上記の防除方法か来期のプルートMC散布を検討してください。

農薬を使用する際には、必ずラベルの記載内容を確認しましょう

問合せ先：埼玉県茶業研究所 農業革新支援担当 田中  
茶業技術研究担当 岩崎

TEL：04-2936-1351

いるま野農業協同組合 各営農センターまで

**※この通知は茶業研究所とJAいるま野が協力して作成し、お知らせしています。**